



あなたは
250,401人
の読者です！

いせさき未来プレス

Q：平成30年4月執行の伊勢崎市議会議員
選挙の投票率は何%でしょうか？

- ①49.02%
- ②42.89%
- ③56.80%

正解は
中面に！！

午後7時53分確定				前回
投票率(%)				投票率
男	女	計		
44.20	49.87	46.95	43.81	51.73
42.87	44.89	52.14	54.67	
49.46	54.37	43.86	51.05	
42.55	44.73	44.85	50.53	
43.01	46.24	44.87	47.57	
43.38	46.05	38.14	46.43	
35.44	40.84	44.54	51.81	
41.50	47.75	45.78	49.39	
42.77	48.82	42.90	54.64	
41.37	43.70	48.12		
45.98	52.28			

投票に行く方
は少数派？



伊勢崎市では年間に700～800億円の予算(一般会計)が組まれています。

議会は1円たりとも自由に予算を組む権限はありませんが、この予算の決定(議決)をする唯一の機関である事から、様々な形で意見を述べる立場です。

何百億円という大きな金額になると実態がわかりづらく、「議員は必要ないのでは？」
「市役所は無駄遣いをしている？」とのお声も多数頂きます。

どれほど皆さんの政治への関心が低くても、どれほど皆さんが議会が不要と思っても

そのわかりにくさから敬遠する議員も存在する議案書や分厚い予算書と決算書に黙々と目を通し、調査し、質疑し、質問し、予算要望をし、

これまでの8年間と何ら変わらず、継続してこの広報誌でお伝えしていきます。

議員が名誉職の時代はとうに終わりました。

議案を慎重に審議していくため、現実的な政策提言をしていくため、

話の大小は気にせず、ご意見やご要望を頂ければ幸いです。

ご意見お寄せください！

住所：伊勢崎市太田町1146-7 メール：swrmg866@ybb.ne.jp
電話：090-7836-3135(取れない時は折り返し電話します)

馬庭 充裕 (まにわ みつひろ)

—伊勢崎市議会議員— いせさき未来代表 1978年11月22日生まれ。39歳
尚学館中学(宮崎県)、日高高校(和歌山県)を経て、群馬大学卒業(理学療法士・呼吸療法認定士)。美原記念病院に勤務後、現職。市内太田町在住、家族は妻・娘(高校生)・息子(小学生)

活動写真館 (見聞きする全てが学び。規模問わず気軽にお呼び下さい)



上：少数激戦の選挙が執行されました。各議員の当選後の活動にご注目下さい。



左：市内高校の文化祭へ。地元のスーパー等との商品共同開発をしてきた商業高校。本市のPRとして、桑の葉パウダー入りのクッキーや桑の実ジャムの製造販売をしてきた興陽高校。イベント時にミニ鉄道の出張を行い子どもを楽しませてきた工業高校。など特色ある沢山の県立高校があります。高校は市議会の範囲ではありませんが、市を盛り上げるのに若い力は欠かせませんので、様々な機会に高校にお邪魔したいと思います。



左：被爆者の小野英子さんの講演会。記憶を風化させない努力も必要です。爆心地から1.5kmの位置にいた原体験と福島被爆者手帳の必要性などを語っておられました。右：三郷地区住民体育祭。選手・応援・運営など、子どもからご年配の方まで、大いにスポーツと交流を楽しまれました。



左上：前橋市の不登校児童・生徒支援のフリースクールこらんだむの視察を行いました。

左下：知的障害を持つ子ども、発達障害を持つ子ども、みんな同じ教室で学ぶ、しかも不登校はゼロ。映画みんなの学校「大空小学校」の当時の校長の木村先生、その教育観を尊敬しています。講演会に行きました。地域に開かれた学校というだけでなく、地域の一人一人が地域の学校を自分たちの学校として主体的に学校と子どもの事を考えられる。コミュニティスクールの制度も活用して、そのような学校を伊勢崎市に増やしていきたいです。



左上：島村渡船フェスタ。毎年恒例の前日の清掃活動9年目になりました。当日は沢山の来場者が、川に親しみ、多くの出店や踊り等を楽しんでおられました。



左下：森田洋之医師の講演参加。破たんした夕張市は入院や救急体制も失われましたが、元気な高齢者は増えたのです。依存しすぎる医療から自ら健康を考えられるようまちづくりの参考となりました。

①

馬庭 充裕
一般質問①

平成30年4月執行の市議会議員選挙の投票率は、

42.89%

平成22年 56.80%

平成26年 49.02%

平成30年 42.89%

下降に歯止めがかかりません・・・

候補者数は、H22・41名(定数32)、H26・35名(定数30)、H30・32名(定数30)でした。

「地区の候補を応援する」「親族・知人・同級生を応援する」意味合いが強い地方選挙は、候補者数の減少が投票率の低下に直結します。

「選挙に行く意味がわからない」「自分一人行かなくても一緒」だから、投票率低下は気にしなくていいことなのでしょうか???



みんなが関心が無い時でも絶対に選挙に行く方々

投票率が下がると、浮動票が減少し組織票が濃くなります。組織票が濃い候補ばかりの市議会は本当に全ての市民代表と言えるのでしょうか？

③

馬庭 充裕
一般質問②

中学校教職員の約3割が月の時間外80時間以上！！

教職員の負担軽減に向けた取りくみについて



教育現場では、既存の教科に加え、環境・道徳・原子力など学びは増加する一方です。更にいじめ・不登校・困窮家庭・虐待・アレルギ―・防犯・防災など求められる役割や機能も増加しています。教職員の方々が心と時間に余裕を持って働く事は、子ども達や将来の本市の発展にもつながります。教職員の負担軽減を図る施策について伺いたいと思います。

質疑：学校業務の適正化の考えをお聞かせ下さい。

答弁：29年度の県調査(*抽出調査)では、月の時間外勤務60時間以上が半数、80時間以上が小学校13%、中学校27%であり、94%の教職員が忙しうと感じていると回答しています。出勤記録の把握を今年度開始しました。

質疑：教職員の人的支援の考えをお聞かせ下さい。

答弁：教育支援員・校務支援員・学校生活支援助手・強化担当員・相談員等を市費・県費で配置しています。一人の教職員が全ての業務を追わないよう負担を軽減していきます。

質疑：時間外勤務や年休取得等の数値目標を設定し、市民を含めた方々と意識共有するための伊勢崎市教職員の働き方改革プラン策定の考えをお聞かせ下さい。

答弁：国・県の動向を注視していきたく思います。

②

馬庭 充裕
一般質問①

現状の市の取り組みは投票率低下の原因の本質を突いていない！



投票率向上のための根拠のある施策について

若い住民が多い投票所は特に投票率が低い状況でした。衆議院選挙の全国データを分析すると、有権者の4割の60歳以上の方が全投票数の5割を占めていました。函館市では、集客力の高いショッピングセンターに投票所を設置し、有権者の6割である59歳以下の方にとっても効果的でした。期日前投票の8割以上が59歳以下。

質疑：投票区の再編について課題と今後の考えをお聞かせ下さい。

答弁：合併時は73ヶ所の投票所を引き継ぎました。人口が少ない・多い投票区があり、再編は今後研究します。

質疑：集客力の高い商業施設への投票所の設置拡充についてお聞かせ下さい。

答弁：宮子サービスセンター・駅前インフォメーションセンターに投票所を設置しており、オンライン化されている為に急な衆議院解散総選挙にも対応出来ます。投票所の設置拡充はオンライン化やコストの課題もあるので研究します。

質疑：最も利便性が高い投票所を有権者が自ら選択出来る共通投票所地元の会議所や体育館に限らず、どこにお住いの方でも選べる投票所を設置すべきですが、考えをお聞かせ下さい。

答弁：2重投票の防止、オンライン化、人が介する事によるミスの防止などをふまえて研究していきます。

④

まにわ充裕
一般質問③

ロボットを導入し、人にしか出来ない対面相談などに集中配置を！

業務改善について



RPAとはロボティック・プロセス・オートメーションと呼ばれ、人間が行うキーボードやマウス等のパソコン端末操作を自動化する技術です。市役所の業務では、市民から提出された紙や電子の申請書を手作業で入力する作業を自動化する事などが出来ます。熊本県宇城市ではふるさと納税業務など5業務に導入し、年間3.632時間、人員で約1.9人の削減、724万円の予算削減を生み出す見通しで、つくば市では、6業務に導入し、作業時間を約8割減らせる見通しで、つくば市長は「単純で定型的な作業に割いていた時間を丁寧な窓口業務にあて、行政サービスの質向上が期待できる」と述べております。ICT技術のいち早い利用は厳しい自治体間の競争を勝ち抜く為の大きな戦略になります。

質疑：業務効率化の現状と今後の考えをお聞かせ下さい。

答弁：業務スリムアップ計画を策定し、全庁的に業務手順明確化などを進めています。

質疑：ICT技術の導入の現状と今後の考えをお聞かせ下さい。

答弁：RPA導入は業務の洗い出しとマイナンバー業務のシステム変更が必要な為、これまで検討していません。手計算を行っている業務について費用対効果の検討を行い、積極的に調査・研究し、必要な技術は市のICT計画に位置付けていきます。